

# 奥会津だより

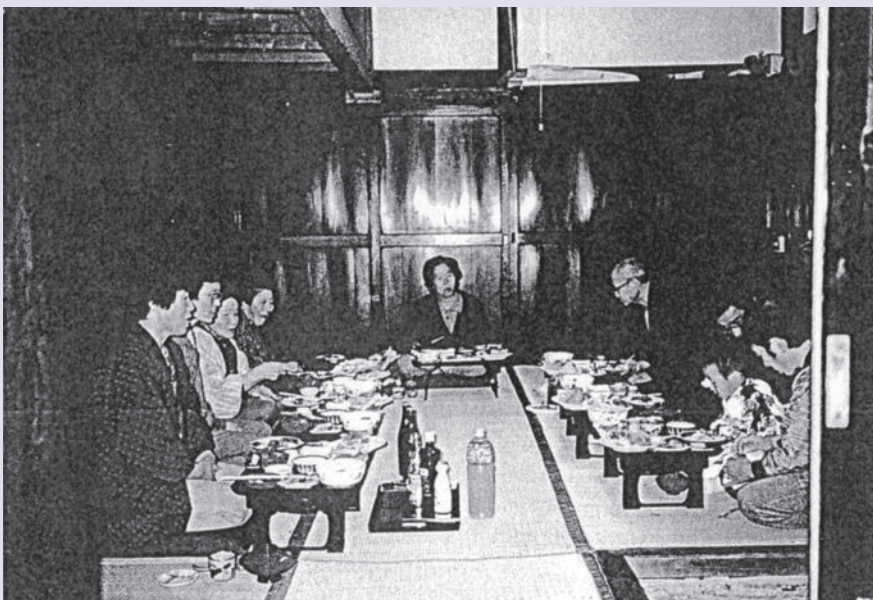


木々は最後の装いに  
あらん限りの鮮やかな色を纏う  
静かな眠りにつく前の  
いのちの限りを尽くして

写真：菅家博昭

## 昔の七五三

柳津町立西山小学校 六年 伊藤 萌恵



写真は、今から約三十年前、わたしが住んでいる家が建つ前に、祖母が住んでいた家の写真です。  
写真について、祖父母に聞きました。

写真は、今言う七五三のときのもので、当時は「ひぼとぎ(ひもとき)」と言ったそうです。  
写真に写っているような着物を着ているのはわたしのおじで、真ん中に座っているのは、「といやげばあ(とりあげばあ)」という方で、生まれた

で、生まれた時の立会人だそうです。  
写真に写っている人たちが食べている料理は、写真の左側にすわっている、しよつたいされた人たちが作ったもので、昔から食べられているごつゆやぜんまいだそうです。  
わたしは、今と昔とで、七五三のやり方が全然ちがうことを知り、おどろきました。昔の七五三がどのように行われていたのか知ることができ、良かったです。

## 取材ノート

祖父・伊藤 光正さん  
(昭和二十八年生 六十五歳)

祖母・伊藤ムツ子さん  
(昭和三十一年生 六十二歳)

孫・伊藤 萌恵さん  
(平成十八年生 十二歳)  
〔会津柳津学園中一年〕

Q: 萌恵さん、この写真に興味を抱いたきっかけは?

萌恵さん: アルバムを見ていた時に、見つけました。私の知らない場所に大勢が座っているの

Q: 「おめえ」で撮影されたのですね。

ムツ子さん: 玄関から入ったとこ

ろに客間というのがあったんですよ。その次の間が「おめえ」といきました。その奥が「座敷」でした。

光正さん: 仏壇があるところで、「おめえ」というのは「御前(おんまえ)」だな。

Q: どなたの七五三でしょうか?

萌恵さん: 私の伯父さんです。

Q: 「ひぼとぎ」というのは?

ムツ子さん: 二歳の時の秋にやっていったんだよ。真ん中に座っている人が「といやげばあ」と言って、一番偉い人なんです。

Q: 「といやげばあ」とは、「とりあげばあ」の意味でしょうか?

光正さん: 産婆さんをお手伝いするという意味なのかな。産婆さんの資格を持っている方ではないです。この集落の近い関係の方に「といやげばあ」

になってもらうのです。昔の名残で、産婆さんがいない時に経験豊かな人がお産の手伝いをするということがあったのだらうと思います。

Q: この時のごちそうには、どんなものがありましたか?

ムツ子さん: ぜんまいとか、天ぷら、きんぴらごぼう……。

萌恵さん: ぜんまい大好き。

ムツ子さん: この頃は、どこかの店にお魚を煮てもらったり、頼んでいたような気がします。

Q: お刺身もあったかもしれません。

萌恵さん: 中学校に入ってから

Q: 萌恵さん、中学校に入ってから

Q: 萌恵さん、中学校に入ってから

小学校と違うところは?

萌恵さん: 忙しいです。単元テストがいっぱいあって、土日に部活があるんです。それで、勉強するヒマがないくらいです。

Q: 好きな教科は何ですか?

萌恵さん: 特に数学と理科が好きです。

Q: 現在の七五三の祝いはどうなのでしょう?

ムツ子さん: 今は、家ではやらなくて、町民センターとか西山荘とかでやるのですが、「といやげばあ」は、お願いすることがあります。

写真・文責: 菅 敬浩

## 奥会津の鳥

〈キジバト〉

写真・文: 新国 勇



田舎から都会まで、ふつうに生息する。背中付近の模様がキジに似ているのでこの名がある。奥会津ではヤマバトと呼ぶ。デデッポーポーと鳴く声のどかだが、作物の種子を食べるので害鳥とされる。野鳥はエサが豊富な春に子育てするが、キジバトは喉の奥にあるレジオンミルクで育てるため、季節を選ばずに繁殖する。

## 小豆・じゅうねん干し



斜めの秋の陽は、つかの間。ムシロに広げた小豆は太陽を吸い込み、ミネラルを蓄える。じゅうねんはまだサヤの中。いずれも大切な通年食材だ。ハレの日を演出する小豆と、じゅうねんの香ばしい独特の香りは、いずれも郷土の食を特徴づける。

## 奥会津の食材と料理

（菊の花のクルミ和え）



菊の花をサッと湯がいて、搥り潰したクルミとポン酢で和えるだけのシンプルな料理。心行くまで愛でた花が、今、鮮やかに食卓を彩る。色を控えた秋の膳に、やわらかな光が添えられる。



葉を落としたクズの蔓は、庭木の雪囲いに最適。強く巻きつけても木を傷めない。春に縛りを解くときも、すりと解けて元の形に戻る。晴れた日は、雪を迎える準備に大奮だ。

## 草・樹を使って

庭木の雪囲い 葛くろ



枯れたブナの木によく生える。奥会津ではカノシタという。炒め物、吸い物、炊き込みご飯にすれば美味。ニンジン漬けと一緒に漬け込んでも相性よし。食べきれない分は、塩漬けや缶詰にして保存し、一年を通して味わう。

## 奥会津の植物

今ナハリタケ

写真・文：新国勇

## 奥会津の暮らし〜室内

写真・文 竹島善一

中門造りといわれる曲屋の土間である。板戸で仕切った入口側に厩（うまや）がある。二ツと呼ばれるタタキに室（むろ）を掘って野菜を保存する。

一隅にはコンクリートを打って風呂場になっている。木製の風呂桶も今では見られなくなった。土と木の質感が住まいの年季を語っている。

（平成十七年九月 南会津町伊南）



# Q方言クイズ

クイズに答えて奥会津の地場産品を貰おう!

問題：次の方言の意味は何でしょう？

「おめえ」

ヒント：P2.「聞き書き百選」をご参照下さい。

正解者の中から抽選で3名様に、檜枝岐村の「丸盆(かつら)」をプレゼントいたします。

●応募方法：官製ハガキに奥会津だよりの感想、住所、氏名、電話番号を明記の上、答えをお書きください。

●あて先：〒969-7511

福島県大沼郡三島町大字宮下字中乙田979  
奥会津書房 宛

●応募締切：2018年12月15日消印有効

※当選者の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます。 ※クイズの答えは次号108号で発表いたします。



◎106号「ぬたぐって」の答え：塗りつける

たくさんのご応募ありがとうございました!

奥会津だより  
定期読者募集中

ご希望の方は事務局まで発送先(ご住所・お名前)をご連絡ください。

問い合わせ先：只見川電源流域振興協議会事務局

TEL.0241-48-5525 FAX.0241-48-5575

E-mail: webmaster@okuaiizu.net

# 読者コーナー



●106号の表紙を見た瞬間「ズキューン」と胸を打たれてしまいました。男の子の表情と格好、最高です。立派な山の男です。小さい頃から山に親しむのは大切ですね。(福島市:K.Tさん)

●聞き書きの中の遊びのお話は、とても楽しいものだった事と思います。現在このような遊び場はなく、貴重な子どもの楽しみです。動画にして保存したいくらいです。(我孫子市:K.Kさん)

●奥会津のほのぼのとした情景が伝わってきます。記事のひとつを読み、只見川が電力確保のためとはいえ、水力発電用のダムのために流れが減り、水質が悪化したことは残念に思いますし、後世に伝えていくべき話だとも思いました。(那須塩原市:S.Kさん)

●地域情報満載の貴誌に感謝します。私の住む宮城県北地方にも必要と思っています。戦後の山村の様子も思い起こされます。(宮城県加美郡:H.Kさん)

●「取材ノート」・ご本人の語り口調のままの文面は、まるで直接対話しているような感覚で読むことができ大変良いと思う。

(宇都宮市:K.Mさん)

奥会津振興センターより

## ふくしま大交流フェスタ2018

福島の酒やグルメ、伝統工芸をはじめ  
福島の魅力が詰まったイベント。

平成30年12月9日(日)  
11:00~17:00

東京国際フォーラム ホールE



## 奥会津イベント情報

12月~1月

期日	イベント名	町村名	場所	問合せ
12月20日(木)	会津高原たかつえスキー場オープン	館岩地域	会津高原たかつえスキー場	会津高原リゾート(株) ☎0241-78-2220
12月22日(土)	フェアリーランドかねやますスキー場オープン	金山町	フェアリーランドかねやますスキー場	オープン前：道の駅 奥会津かねやま ☎0241-55-3334 オープン後：フェアリーランドかねやますスキー場 ☎0241-54-2022
	只見スキー場オープン	只見町	只見スキー場	会津ただみ振興公社 ☎0241-83-1733
	会津高原南郷スキー場オープン	南郷地域	会津高原南郷スキー場	会津高原南郷スキー場 ☎0241-73-2111
12月下旬	会津高原高畑スキー場オープン	伊南地域	会津高原高畑スキー場	高畑スキー場 ☎0241-76-2231
1月1日(火)	元朝詣り	柳津町	福満虚空蔵菩薩圓藏寺	柳津観光協会 ☎0241-42-2346
1月1日(火)~2日(水)	正月歓迎行事	只見町	只見スキー場	会津ただみ振興公社 ☎0241-83-1733
1月4日(金)	四日堂	柳津町	福満虚空蔵菩薩圓藏寺	柳津観光協会 ☎0241-42-2346
1月7日(月)	七日堂裸詣り			
1月上旬	第5回Teton Bros. 檜枝岐カップ(SL、GS)	檜枝岐村	尾瀬檜枝岐温泉スキー場	スキー大会事務局(檜枝岐村役場総務課内) ☎0241-75-2500
1月15日(火)	国指定重要無形民俗文化財「三島のサイノカミ」	三島町	三島町各地区	三島町教育委員会 ☎0241-48-5599
1月中旬	歳の神	伊南地域	伊南地域各地区	南会津町観光物産協会伊南観光センター ☎0241-64-5711
	歳ノ神	館岩地域	館岩地域各地区(前沢・湯ノ花・八総・高杖原集落)	
1月19日(土)~2月3日(日)	山人・巖冬まつり	檜枝岐村	檜枝岐村内(旅館・民宿)	尾瀬檜枝岐温泉観光協会 ☎0241-75-2432
1月27日(日)	毎日杯GS大会	只見町	只見スキー場	会津ただみ振興公社 ☎0241-83-1733



発行：只見川電源流域振興協議会(柳津町・三島町・金山町・昭和村・只見町・南会津町(南郷、伊南、館岩地域)・檜枝岐村)  
発行日：11月15日発行(年6回発行) 事務局：〒969-7511 福島県大沼郡三島町町民センター内奥会津振興センター TEL.0241-48-5525  
http://www.okuaiizu.net ✉webmaster@okuaiizu.net 編集：奥会津書房 福島県大沼郡三島町宮下 TEL.0241-52-3580

★只見川電源流域振興協議会は、福島県只見川流域の7町村の活性化と振興を図るために活動している団体です。

この冊子は電源立地地域対策交付金の事業により作成されています。